

登校を取りやめオンライン授業に切り替える基準 Q&A

(Qは実際に寄せられた質問ではなく想定したものです。この他に学校医のアドバイスも受けます。)

2021・9改訂

Q1 どんな時に登校を取りやめ、オンライン授業に切り替えるか？

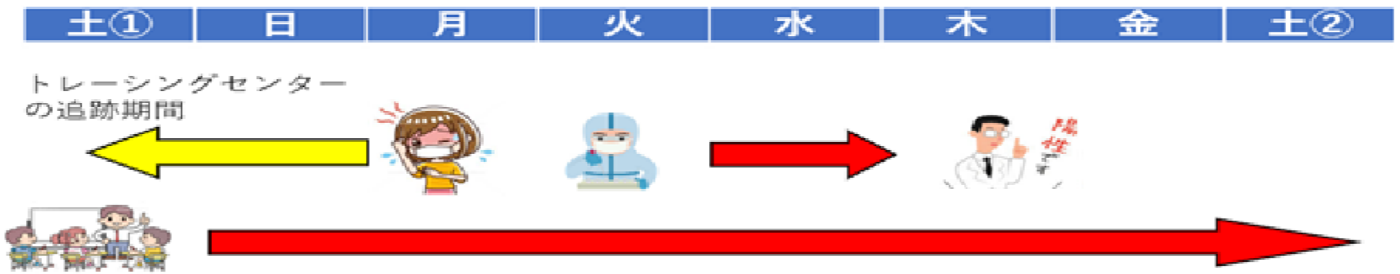
○ 児童・生徒に感染者が発生したとき

補習校では、児童・生徒が PCR 検査をして陽性と判定された場合、下①及び②の手順に従って登校を取りやめオンライン授業に切り替えます。

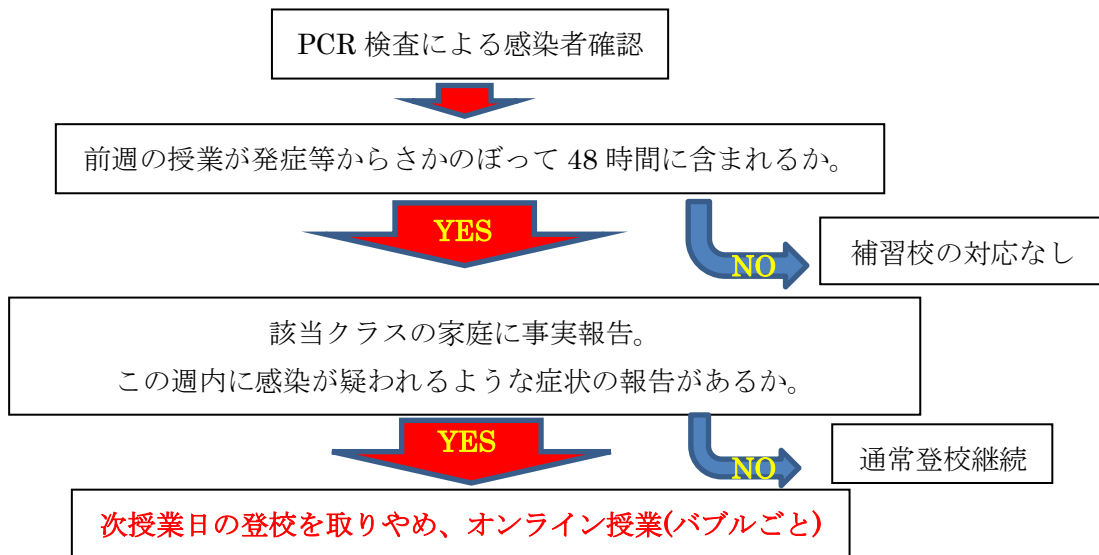
① 発症(何らかの症状が出て)、あるいは感染確認の早い時期より 48 時間をさかのぼって前週の補習校登校含まれるか。

*トレーシングセンターではこの 48 時間をさかのぼって追跡をするそうです。つまり、発症より過去 48 時間から感染させている確率が高いということになります。

下の図のようにこの「さかのぼった 48 時間」に土曜日の授業時間が含まれる場合、すでにクラスで接触及び感染させている恐れがあります。



② 該当クラスに感染者の確認の事実(氏名等の個人情報は公表しない)を公表。その週内に発熱等の疑わしい症状が出るかどうかの情報提供をお願いし、該当する児童・生徒があった場合、上図の土②の登校を取りやめ、オンライン授業に切り替えます。



*土曜日の授業中に具合が悪くなった児童・生徒の陽性が確認された場合は、上記の限りではありません。このことも踏まえて、ご家庭では登校前の健康観察に今一度ご協力ください。

○ 職員に感染者が発生したとき

職員も基本的に児童・生徒と同じですが、職員の場合、土曜日のみではなく平日(不定期)に授業の準備に職員室を訪れる者もあります。感染した職員の動向によって、他の職員への感染の可能性も勘案し登校を取りやめるべきかどうかを決めます。

○ ベルギー政府、フランス語圏当局、学校医の指示による場合

これは当然ですが、当局の指導により登校ができなくなった場合にはオンライン授業に切り替えます。

ここに挙げておりますケースに限らず、感染拡大が大きく懸念される場合、学校医の指示を受けながら登校を取りやめることもあります。

Q2 「登校取りやめ」の範囲は？

- ・ 該当学年がある階(バブル)のみの登校取りやめとします。
- ・ 感染者が同時期に複数学年に確認された場合は、その状況によって複数階あるいは全校の登校を取りやめることがあります。

校内では、感染予防のためにこれからも各階のバブルによる行動制限は保持していきます。



Q3 感染者が出た場合の情報は保護者にどのように伝えられるのか？

これまでもお話ししているように個人が特定されるような情報の出し方はしません。(長期休業中など他の子どもたちに全く影響がない場合の情報発信は行いません。)

- ・ 発症日
- ・ 感染確認日(陽性と判定された日)
- ・ 感染者の学年・クラス
- ・ (場合によって)現在の症状

このような情報の発出を想定しています。

トレーシングセンターが濃厚接触者と判断する者には、センターから PCR 検査の要請があるということです。

「誰だろう？」と知りたくなるのも人情ですが、「感染した子が我が子だったら・・・」という思いを持って、静かに見守っていただけますようお願いいたします。



Q4 いつ頃まで「登校取りやめ」の連絡はあるのか？

先の図で示しておりますように、発症から PCR 検査、その判定までには数日を要します。また、該当クラスその他児童・生徒の症状観察もあり、最悪、月曜日に発症し火曜に PCR 検査を受けたものの、金曜日まで判断を待たなければいけないといったケースも出てきます。つまり、補習校の「登校取りやめ」の連絡は金曜日となる場合があります。「連絡が遅い」と思われるかもしれませんが、このような状況での判断になりますのでご理解ください。

また、学校側ができるだけ早く情報を掴むために、お子さん及びご家族が PCR 検査を受けられた時点で学校にもご連絡いただくことをお願いしています。お子さまの登校に関して様々なケースが出てくると考えられます。個別対応をしますので学校までご連絡ください。



このようにできる限りの想定はしていても、どのような状況が訪れるのかわからない現状です。

保護者の皆様とともに、互いが助け合う社会の姿、学校の姿を子どもたちに見せていきたいと思っています。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。